



安倍9条改憲NO! 増本会長先頭に街頭宣伝 (1月24日JR御茶ノ水駅)



No.524

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
編集発行人 田中幹夫

〒113-0034 東京都
文京区湯島2-4-4
平和と労働センター・全労連会館
電話 03(5842)6461
FAX 03(5842)6462
E-mail
chian@bz03.plala.or.jp
頒価 50円

安倍9条改憲NO!

会員拡大・署名に全会員の参加を

通常国会が始まりました。安倍首相は、憲法9条改憲発議、沖縄への新基地の押し付け、「残業代ゼロ」制度、労働法制の大改悪、消費税増税と社会保障改悪など、労働者・国民へ挑戦する「新たな国創り」を訴えました。

憲法は、侵略戦争の犠牲のうえに戦前回帰の防波堤として制定されました。安倍改憲は許しません。市民と野党の共闘を発展させ安倍内閣を退陣に追い込もうではありませんか。

3月15日は創立50周年記念日です。1月常任理事会は今年を「創立50周年記念・躍進年間」に決め、「2万人の同盟建設」など、諸課題の達成をめざします。5人以上の会員拡大は、13道府県で42人が突破(1月29日現在)。千葉、青森、岡山が自主目標を達成しました。請願署名は12月、東京5500筆、千葉2300筆、山形・長野各1400筆伸ばすなど前進がはじまっています。この運動を全支部・全会員の参加で成功させましょう。

創立50周年記念集会in関西「講演と文化のつどい」(3月17日・大阪ドーンセンター)。同各団体招待祝賀会(4月16日東京ガールデンパレス)を節に、諸課題達成に力を集中しましょう。

5月16日(水)予定の国会請願成功に向け、安倍改憲NO! 300万署名と国賠署名を結んで目標達成めざすと同時に、国会議員の地元事務所への要請活動をつよめ、昨年の紹介議員108人を上回るよう力を注ごうではありませんか。

厳冬の中、健康に留意しつつご健闘を念じています。

主な記事

- 1月中央常任理事会開く……………2
- 私も一言/金子勝 立正大学名誉教授……………3
- 顕彰碑/相川春喜 唯物論研究会員……………5
- 抵抗の群像/沼田秀郷 茨城県……………6
- 同盟文芸/短歌・俳句・川柳……………7

創立50周年 2万人の同盟へ飛躍を

中央常任理事会

同盟創立50周年記念日まで2カ月と迫った1月17日、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟の1月中央常任理事会が東京都内の全労連会館で開かれました。会議では改憲発議ストリップ3000万署名と

とし、会員拡大、国会請願署名、記念行事などの諸課題を成功させること。

国賠署名の推進、同盟創立50周年記念事業の成功や2万人会員拡大で飛躍的な前進を勝ちとることなどを確認しました。

第3は、憲法改悪阻止・改憲国会発議を許さず、国民投票をストリップさせる運動を強化すること。

あいさつに立った中央本部の増本一彦会長は、議論する中心課題としてつぎの4つをあげました。

第4は、「市民と立憲野党との共同」を推進するため、市民連合の運動に貢献すること。

第1は、安倍改憲策動を中心とする情勢の認識を深めること。特に、安倍改憲が明治憲法に親近感を持つ反立憲主義であり、歴史修正主義にもとづくことを厳しく告発すること。

このなかで増本会長は「今日の情勢をどうつかむか」にふれ、安倍流改憲は9条に「自衛隊」条項を加えようというもので、絶対に許すことはできないと指摘。

第2は、3月15日に迎える同盟創立50周年の今年を『同盟創立50周年記念・躍進年間』

治安維持法犠牲者等の生命を賭したたかいたと抵抗で勝ち取った日本国憲法の両性の平等にもとづく国民主権主義、戦争の放棄による国際平和主義、基本的人権尊重主義を守り抜くことが、同盟の今日的使命だと強調しました。

そのために3000万署名と国会請願署名を成功させ、2万人の同盟建設、創立50周年の諸事業を成功させようと訴えました。

また千葉3000人、青森400人、岡山3000人の自主目標を達成し、東京1000人、兵庫800人が中間目標を突破したことを報告しました。



50周年記念・躍進年間

5月16日予定の国会請願行動をはじめ、「創立50周年記念・躍進年間」を成功させるため、全都道府県で推進体制を確立する努力と奮闘を訴えました。

榎本よう子事務局次長が財政報告を行った後、20人が発言しました。



田中幹夫事務局長は、昨年9月常任理事会

で2万人の同盟建設で「来年3月まで5人以上の拡大にチャレンジする会員を組織する」よう提起したが、これまで全国で5人以上は38人、10人以上の拡大者は10人になったと報告しました。

支部づくりも9月以降、青森・三八、静岡・中部、大阪・北福島山梨・北杜、山梨・郡内の5支部が結成されたとのべました。

また千葉3000人、青森400人、岡山3000人の自主目標を達成し、東京1000人、兵庫800人が中間目標を突破したことを報告しました。

5月16日予定の国会請願行動をはじめ、「創立50周年記念・躍進年間」を成功させるため、全都道府県で推進体制を確立する努力と奮闘を訴えました。

榎本よう子事務局次長が財政報告を行った後、20人が発言しました。



昨年時代小説の名手、藤沢周平の没後20年だった。雑誌の特集、長女・展子著『藤沢周平遺された手帳』(文芸春秋)の出版、テレビ放映などと賑やかな一年だった▼庄内平野の農家に生まれ、野良で汗水流す農民の暮らしを見てきた。その健康さを愛し、自らも好んで田畑に入った。長塚節の評伝『白き瓶』、小林一茶『一茶』の作品の核には、昔の農家を支えてきた「モラル」があった▼「ふつうが一番」とい

い、つましい生活だった。一方、山形の中学校教師の時代には「青年よ銃をとるな」の反戦・平和の旗に共鳴した。ソ連の崩壊、社会党の解党をみて、「日本共産党しかないね」と語った▼昨年12月、藤沢の妻、和子さんが86歳で逝った。作品の誤字脱字を見つけ、仕事の日程管理をしてきた。2階に出勤する「下宿人のような」亭主・藤沢を支えた。階段の下にはいつも呼び出しの鈴が置いてあった。まさに「糟糠の妻」だった。

(澤)

【発言者名・発言内容】

- 宮田汎(北海道) 敬称略 会員拡大
- 中村日出丸(千葉) 会員拡大
- 中嶋育雄(東京) 支部づくり・署名
- 牛山靖夫(岩手) 顕彰活動
- 塩田一行(大阪) 会員拡大
- 鎌田哲成(青森) 支部づくり
- 瀬野幸男(山形) 支部づくり
- 風間秀子(東京) 女性部新春のつどい。犠牲者の語り伝え。
- 福井正樹(岡山) 会員拡大
- 岡正信(兵庫) 会員拡大
- 岡正信(兵庫) 宗教関係での署名活動。会員拡大。
- 菅野亨一(国際部) アジア平



「地球的規模での『安保』の国」は、アメリカに従属して、協力のための日米同盟(2006年6月29日発表の「新世紀の日米同盟」と「日米安保条約」体制を実行するアメリカと共に、世界中で侵略戦争を展開する国であるため、その戦争に国力を総動員できると、その戦争に反対する勢力を弾圧できると、暴力で、「第9条」を潰し、国民主権や基本的人権や地方自治や議会政治などを抹殺する「ファシズム」を必要とする。

『安保』ファシズムとの闘い

なった21世紀の「日米安保条約」体制を実行するために、安倍連立政権は、2015年9月19日に、国家に侵略権である

金子 勝

る集団的自衛権の行使を付与し、自衛隊を軍隊にする侵略戦争法(「平和安全法制整備法」と「国際平和支援法」)を制定して、日本国を「『第9条』の国」から「『安保』の国」に転換させた。

この「ファシズム」は、日米安保条約体制の産物であるため、「『安保』ファシズム」となるが、私達の今後の闘いの焦点は、「『安保』ファシズム」との闘いとなる。

(立正大学名誉教授)

秘も一言

「『安保』の国」に転換させた。



和の旅(韓国)。国際人権活動。
 ○山崎雅子(神奈川) 全国女性交流集会参加。レッド・パージ学習、歴史認識学習。
 ○小室仁弥(埼玉) 同盟活動と労働組合。安倍改憲、自民党支持者も変えていく可能性。
 ○古田万三(東京) 青年部活動の展望。
 ○伊藤燕子(新潟) 木崎争議と農民学校。女性犠牲者の顕彰活動。
 ○森岡幸一(高知) 高知青年交流集会。全国展開の展望。
 ○藤田廣登(千葉) 『治安維持法と現代』2018年春季号案内。
 ○若山晴史(愛知) 市民と立憲野

常任理事会の発言から

(敬称略)

28人で1000人を拡大

〔北海道・宮田汎〕

拡大のエンジンがかかったのは総選挙後の11月で、火が付いたのは旭川で開催したブロック会議です。会議に参加した犠牲者の姪の方が入会、同じく釧路の参加者が旭川の知人に入会してもらいました。これで28人が成果をあげ、1000人増やせたのです。拡大ニュースは成果を上げるたびに発行、1日2号発行の場合もあり、現在、40号に達しています。10000人を超えたので、自主目標13000人を、2018年末までに達成するつもりです。

小国町で意見書採択
自治体の過半数に迫る

〔山形県・瀬野幸男〕

12月、小国町議会は、同盟の意見書請願を採択。山形県で4年ぶりの意見書採択で、これで、県内35市町村のうち17自治体で意見書採択となりました。過半数の18にあと1つと迫り、2018年に挑戦します。

小国町では日本共産党の議員が落選中でしたが小国町には戦前、内村鑑三の影響を受けたキリスト教学校があり、初代校長の鈴木彌美、同調者の渡辺彌一郎が活動していました。彼らは反戦論者として

稲嶺ススム候補(名護市長選)必勝へ 同盟旗に激励寄せ書きと募金を贈る

中央常任理事会

同盟は1月17日に開いた中央常任理事会で、名護市の稲嶺ススム市長候補へのカンパと同盟旗への激励寄せ書きを呼びかけ、寄せられたカンパと同盟旗を贈

りました。同市長選では、辺野古の新基地反対をかかげる稲嶺ススム候補と自公が推す新基地容認候補との一騎打ちで激しい闘いとなっています。

て、検挙・投獄されています。この学校は戦後、キリスト教独立学園として、素晴らしい教育を実践しています。小国町では鈴木彌美の娘今野和子さんが、毎年名誉回復の署名300筆を集めて要請していました。

昨年今野さんが請願者、学園の卒業生の町会議員が紹介議員となって、名誉回復の請願をしました。治安維持法弾圧の実態に対する理解が深まり、鈴木彌美、渡辺彌一郎の名誉回復の必要性が納得され、1人の議員の反対はありましたが、採択されました。

全県に支部建設「種まく人びと」 上映運動で自主目標達成

〔千葉県・中村日出丸〕

3月末3支部結成めざし、新会員目標350人を決めています。全県に支部を作ろうと「種まく人びと」上映会と結び、昨年12月に会員300人の自主目標を達成。会員拡大に弾みがついています。その後15人を拡大、新目標350人を3月末達成に目途がついています。

また3月末、飯島喜美の集いを地元で開催し、銚子、旭、匝瑳地域で東総と柏、船橋などの3支部結成が進行中です。

50周年へ会員13000人、 4支部結成に挑戦

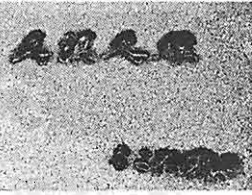
〔東京都・中嶋育雄〕

会員目標10000人は都本部40周年の目標でした。10月になって、理事2人、各支部3人の会員拡大目標を決め、11月12月の強化期間を設定。

実際に動き出したのは、11月理事会で、理事から都本部は目標は決めるが、なんの追及も無いと痛烈な批判があり、本格的な拡大論議がされました。実際には11月後半で、足立支部は10年ぶりに総会を開き体制を確立、5人拡大、目黒支部結成準備で5人拡大。12月25日目標達成日、新たに17名を拡大、ついに会員10000人を突破しました。
40周年の成功が理事会の確信になり、同盟50周年に向け、4支部結成に取組み、13000人目標に挑戦を決めています。

顕彰碑 探訪

6回の検挙・投獄に抗した
唯物論研究会員
相川春喜



「農村経済と農業恐慌」を執筆。また『歴史科学の方法論』『唯物論全書・技術

「農村経済と農業恐慌」を執筆。また『歴史科学の方法論』『唯物論全書・技術

(藤田廣登)

相川春喜(本名・矢浪久雄)は、1909(明治42)年、新潟県高田の中学校教師・淑次郎、ひでの2男として出生。26年4月、第四高等学校文科乙類(現、金沢大学)在学中、学生社会科学研究会に参加、リーダーとして右翼学生の暴力事件を契機に全学ストを指導、29年2月、卒業直前に放校処分を受ける。上京後、プロレタリア文化運動に参加、東京と富山で2回の検挙、再上京後の30年、産業労働調査所で調査研究に従事。31年と32年に2回の検挙を受ける。この頃、唯物論研究会に、ついでプロレタリア科学同盟結成に参加、その代表として33年、『資本主義発達史講座』で「農村経済と農業恐慌」を執筆。また『歴史科学の方法論』『唯物論全書・技術

6 地方議会で請願活動

兵庫県本部

県本部では、相生市議会、加西市議会、加古川市議会、福崎町議会、播磨町議会、稲美町議会の3市3町の昨年12月定例議会で請願書を提出、審議されました。残念ながら採択された自治体はありませんでした。

次の議会には、明石市議会、姫路市議会、赤穂市議会、佐用町議会に請願する予定です。



『不屈』兵庫版18年1月号より)

山梨・北杜支部を結成

山梨県本部

県本部では昨年12月22日、北杜市長坂町において、「山梨北杜支部」が結成されました。この地域にはかつて、治安維持法犠牲者の渡辺義雄さん、望月正一さん、久保貴宣さんらによって峡東支部が存在しましたが、この20年空白となっていました。昨年早々からの

準備で、支部結成にこぎつけたものです。支部長・中川量機さん、事務局・雨宮裕代さん、八代淑子さん、志村清さんが選出されました。

(『不屈』山梨版18年1月号より)

治安維持法道内学生弾圧百数十人

北海道本部

「宮澤・レーン事件を考えるつどい」思想統制と弾圧の歴史から学ぶ」集いが、北海道大学学術交流会館にて開催されました。宮田汎同盟北海道本部会長が講演。治安維持法による弾圧は、北大11件140人以上、小樽高商2件10人、旭川師範1件5人、北大生の弾圧には朝鮮人学生18人、中国人学生8人が含まれ、合計153人以上の学生が検挙されたと語りました。また、学校側も、特高まがいの圧力を加え、放校、退学、停学などの処分もして、学生の自主的なサークルや、研究団体も解散させたことを明らかにしています。(『不屈』北海道版18年1月号より)

抵抗の群像

沼田秀郷
ぬまたひでさと

戦前「唯研」を守り、戦後は日本共産党の自主独立路線を貫いた

沼田さんは1905年10月、茨城県多賀郡櫛形村(現・日立市)伊師で、五代続いた医者で、地主の次男として生まれました。

27年、親の反対を押し切って早稲田大学仏文科に進み、文化思潮研究会で社会主義理論の共同研究に参加。30年に早大を中退し、政治活動、労働運動に加わり、32年7月、日本共産党に入党。日本共産党東京市委員長のアシスタントを担当しました。

33年10月23日、戸坂潤らと「唯物論研究会」創立に加わり、その直後にスパイの手引きで特高に逮捕され、上野署、豊多摩署で3年間拘留生活を送り、治安維持法違反で懲役3年執行猶予5年の判決を受けました。

36年保釈、「唯物論研究会」再加入。37年には幹事となり、戸坂、古在由重らと会の運営にあたりま

妻の睦子が参加し、沼田さんは地方委員に選出されました。

46年4月、戦後初の衆院選に妻の睦子が党公認で立候補。沼田さんは応援演説で、全県を駆け巡りました。49年の総選挙で茨城2区から沼田さんが立候補し、1万6413票を獲得しました。

地元では、戦災復興の用材放出を高萩営林署に要求、そのたたかいの先頭に立ち、要求を実現。農地解放闘争では、自らの全農地を解放しただけでなく、日立製作所海岸工場の前に建設した日本共産党北部地区委員会の事務所用建材として必要なだけ提供したことはよく知られています。

日本共産党第8回大会で、中央統制監査委員、70年党中央委員となり、中央党学校や人民大学の講師をつとめました。また67年「平和と社会主義の諸問題」誌編集評議会のメンバーとしてチェコのプラハに派遣されました。

日本共産党代表団の一員として、71年に帰国するまでの4年間、ふなれな英語を駆使しながら、ソ連の大国主義とチェコ侵略に、ひと

り孤軍奮闘、日本共産党の自主独立路線を守り抜きました。

77年に72歳で党中央の顧問となり、現役を引退しました。また治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟の結成に参加、長年顧問をつとめました。

美術家としては、戦前の獄中で、独学で美術を学び、東京美術学校でも学びました。

64年にはアンデパンダン展に初出品。以後毎回出品。78年には水彩画家として個展を開催し、17回にわたり、東京、水戸、地元十王町(現・日立市)で開催し、好評をえました。

日本美術会員、日本水彩連盟会員。70年「美術茨城」の結成に参加。茨城の民主的美術運動の発展に貢献しました。

2006年、100歳の天寿を全うしあの世に旅立ちました。地元国民宿舎「鶴の岬」で各界から100人余が参加のもとお別れの会が盛大に行われました。墓碑には「共産主義者ここにねむる」と刻まれています。(茨城県本部事務局長・久保田俊雄)

短歌

碓田のぼる選

沖繩の苦しみは我が苦しみとうポスター持つ女性顔
輝やかし 大分県 渡辺 幹生

市民連合野党共闘の輪をあげ花咲かせたし我らの地
にも 岐阜県 和田 昌三

小一のわが学校は須崎なり三百万本の水仙が咲く
静岡県 江川 佐一

父の日に子らより届きし花々は八十路を越えて生き
よと告げり 福井県 元山章一郎

事故おこす度に米軍の決まり文句「原因究明」「再
発防止」 埼玉県 福家 駿吉

成人となりしがその朝父逝けり吾が八十年の歴史辿
れば 岩手県 小杉 正夫

四十年ぶりの戦列復帰を喜びし後輩の訃報に打ちの
めさるる 岐阜県 田中 良

誕生日祝いにもらいし桜草赤黄青を飾る正月
島根県 小玉 信恵

自らの楽しみなりしショッピングも妻に託する八十
路の夕暮れ 鳥取県 大久保禮吉

働けど暮し楽にならずアベノミクス七億円に夢懸け
る列(宝くじ) 埼玉県 小室 仁彌

〈選のあとに〉投稿者の皆さん、新年おめでとうご
ざいます。「捲土重来」をめざす年、言葉の力を磨
いて、この激動の年の、イマ・ココに生きていると

いった、証の歌をつくってゆきましょう。体をいと
いながら。

俳句

望月たけし選

おばあの目多喜二の母の目二月来る
埼玉県 小池 荘八

多喜二三を詠む暖房も灯も消して
神奈川県 天野三葉子

年明けて不屈の志さらに在れ
石川県 野村 芳泉

初春や九条遵守こそ平和
三重県 橋本しげる

紅の芽の木瓜点々と春招く
鳥取県 大久保禮吉

〈評〉多喜二三を詠んだ句には、それぞれ個性的な
把握があった。社会変革のたたかいは、ときに苦難
をともなうこともある。この欄の常連であった故福
岡まるるさんは、そんなときの答えが小林多喜二だ
と俳句に書き遺している。

川柳

鈴木いさお選

ミサイル飛ばし気になる暮らし向き
大阪府 大和 峯二

〈評〉わが国にもかつて、軍事費が国家予算の60
%を越える時代があった。今の北は正にそれ以上、
民の暮しは如何ばかりか。

広島から原爆ノ一の熱い風
埼玉県 福家 駿吉

財政も自然も壊すりニアです
大阪府 佐々木雅博

また改ざんモラルハザードお前もか
島根県 大久保禮吉

10パーセント子育て世代直撃だ
大阪府 堺谷 肇夫

創立50周年記念会員拡大
5人以上の顕彰者

第三次発表分28人、累計42人

【北海道】7人(累計10人)

佐々木秀之、島垣正信、本間

昭一、佐藤昭子、高畑重雄、

千石信弘、竹田孝夫

【埼玉】2人 岩田治樹、高根

一

【東京】5人(累計6人) 吉田

万三、菅野亨一、徳留道信、

安藤郁子、濱谷正支、

【神奈川】1人 宗形孝至

【長野】1人 上原佳月

【山梨】1人(累計3人) 清水

甲一

【富山】1人 小森修

【静岡】3人 山田巖、早崎未

浩、芝田令子

【大阪】1人(累計3人) 佐野

彰義

【兵庫】4人 岡正信、小松美

紀、築谷時雄、大竹有利子、

【広島】1人(累計2人) 吉岡

芳樹

【宮崎】1人 日高脩

第28回全国女性交流集

会報告集2月初旬発行

昨年11月12、13日、熱海市内で開かれた第28回全国女性交流集会は、35県96名が参加。初参加や若い世代の参加者が目立つ熱気あふれる集会となりました。

報告集には、増本会長あいさつ、田中事務局長報告、藤田廣登さんの記念講演「時代の証言者 伊藤千代子」、犠牲者遺族2名(安藤郁子さんと菊池誠一さん)の発言、6府県の報告、分散会報告、参加者感想等掲載。各都道府県にお申し込みください。頒価1000円。

全国各地の顕彰活動 (続報)

◇大阪多喜二祭
日時 2月18日(日) 13:20開会

会場 クレオ大阪東ホール
記念講演 岩崎明日香さん
(作家・文芸評論家)

◇広島県多喜二祭

日時 3月18日(日) 13:30

◇多喜二・百合子に学び・語る早春・文化の集い(熊本)
日時 2月24日(土) 14:00

会場 中小企業大学校(人吉市)
講演 森永玲さん
(長崎新聞社報道局長)

新支部紹介

(カッコ内は支部長)

北杜支部(山梨県・中川量機)
郡内支部(山梨県・竹下 力)

県本部住所変更

●宮城県本部・〒980-0002

創立50周年活動を支える財政確立へ。3月末決算にむけて会費100%納入など、活動強化を訴えます

- 同盟活動を支える4つの活動の一つとして、財政確立に取組んでいます。会計年度は3月末。17年度会費・年末募金・新年名刺広告・出版物代金などの完納に全力をあげましょう。
- ①会員拡大目標を達成し、17年度会費納入100%達成、全県で前年度を上回る前進を。
- ②年末募金、新年祝賀広告代の100%達成を。
- ③書籍、DVDの滞納一掃を。
- ④「創立50周年記念募金」100%達成を(すでに24府県100%達成)。

仙台市青葉区五橋1-5-13

県労連会館3F

電話 022-2222-6458

FAX 022-2222-6450

●富山県本部・〒930-1303

富山市善名133-17 丸山隆方

電話・FAX 076-483-4108

【訂正】本紙昨年12月号7ページ下段8行目に「7月7日 核兵器

禁止国際条約が賛成122、反対1、棄権1で採択」を挿入。

同1月号5ページ「顕彰碑」下段『自由への階級』は『自由への階段』。

同1月号付録「東日本版」3ページ最下段 津軽保健生活協同組合

「総務部古村律子」は「理事長安田 肇」に訂正いたします。

事務局日誌

1月8・9日 「不屈」編集会議

1月10日 全労連会館新春懇親会

1月16日 三役会議・国際部会

1月17日 中央常任理事会

1月18日 女性部会

1月19日 国際人権活動日本委員会代表者会議

1月24日 御茶ノ水駅宣伝署名

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟 創立50周年記念集会in関西

記念講演 新たな「戦時体制」の構築に抗する—治安維持法の歴史に学ぶ—

荻野富士夫・小樽商科大学特任教授

講演と文化のつどい

ヴァイオリン演奏 松野 迅

3月17日(土) 開会 15時 大阪ドーンセンター

(京阪、地下鉄谷町線「天満駅」1番口、JR東西線「大阪城北詰」駅2番口)

協力券1000円 お問い合わせ 同盟大阪府本部 ☎・FAX 06-6772-7555

